より安全で明るく元気なまちづくり

菅町会だより
川崎市多摩区菅2-2-25
発行所　菅町会
発行人　濱沼健夫
編集広報部
電話　944-0445

菅町会会長
濱沼　健夫

今年も暑い夏を迎えようとしています。去る四月二十三日、菅町会総会が代議員の皆さまご出席のもと無事終了し、平成二十八年度の事業を例年より約一ヶ月早く開始することができました。常任理事、理事、地区委員の皆さまのお力添えによるところが大きいと感謝申し上げます。

さて、今期最初の取り組みは、熊本地震災害義援金の募金活動になりました。四月十四日以降熊本県および大分県で発生した一連の地震で死者・不明者・関連死者七十名弱、住宅被害八万五千二百棟以上という甚大な災害です。被災された多くの皆さまに心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧を願っております。義援募金にご協力頂きました菅町会の皆さまのご厚情と義援金を熊本県、大分県の被災者の皆さまにできるだけ早くお届けしたいと考えております。

菅の町は、かつて一九二三年九月一日に発生した関東大震災以降も、台風・豪雨による三沢川などの洪水で、何度か多くの町民の住居の床上・床下浸水、田畑の流失や収穫間近の農作物の被害があり、また、馬場谷戸の土砂崩れによる家屋倒壊被害などもありましたが、行政などの対処により河川の改修、土砂防護の処置が進み、このところ大きな災害に見舞われることが無くなりました。これは、菅で活躍されてこられた諸先輩のご尽力によるところが大ではと感謝に堪えません。

実際に遭遇しないと災害の恐ろしさ、辛さ、悲しみは、頭では理解していても身にしみて分からないと言います。先に触れたように、このところ菅の町は災害に遭遇していないので、メディアから報じられる各地の災害を、私を含めて対岸の火事のように受け取っているように感じられてなりません。しかし、関東地方で大地震が発生する確率はこれから三十年で七十％と予測されております。生きている間に誰もが来ないでほしいと願っている大地震に備えておくことは、被害や悲しみを小さく抑える上で極めて重要なことと思います。

今期は九月四日に多摩川河川敷において二年に一度の合同防災訓練を予定しています。暑い中ではありますが、大勢の町民の皆さまにご参加頂き、減災に向けて訓練を体験して頂ければと願っております。阪神・淡路大震災の際のデータによると、救助隊などによって助け出された人の割合はわずか二％で、自ら逃げ出して助かった人が約三割、家族・親族によって助け出された人が約三割、地域の知り合いに助け出された人が約三割だったとのことです。いざ災害に直面した時には、公助にもまして自助、共助の重要性を感ぜざるを得ません。都市化によって薄れてきている近所付き合いの大切さを改めて感じます。

また、今期は、災害時の仮設トイレの設置の見直し、乳母車を引いておられる方や車いすの方が町の中を安心して出歩けるように、道路公園センターにご協力頂きながら道路の段差を減らしていくように努めていきたいと思っております。

それから、これは町会の事業ではありませんが、菅町会から要望書を出しておりました子之神橋の拡幅工事、芝間公園のトイレ設置、稲田公園の改修工事、布田橋から矢野口にかけての多摩川サイクリング道路の改修検討が始まる予定です。

町会の各事業も常任理事、理事、地区委員のご協力のもと、計画に沿って進めて行きたいと思いますので、町会会員の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

高橋孝次氏、地域特産物マイスターに認定される

高橋　孝次さん

二月二十二日に菅野戸呂に在住の農業高橋孝次さんが、のらぼう菜で地域特産物マイスターに認定されました。この認定は昨年全国で二十四人のみの貴重な認定で、神奈川県では認定が始まって以来二例目の快挙です。

認定に際して菅町会でインタビューを行いました。

高橋氏はのらぼう菜を栽培し、広く普及に努め、菅の地域特産物にまで押し上げた功労者です。のらぼう菜は元々種から油をとる目的で栽培されていましたが、ロウソクが普及すると、あまり栽培されなくなりました。高橋氏は梨の袋に塗る油に使う目的で栽培を続けていました。川崎の地域農産物のブランド化を進めるときに、高橋氏はのらぼう菜の歴史の古さと食味の良さから強く推薦され、川崎の地域特産物に加わりました。

高橋氏は革新的な栽培方法でも注目されています。のらぼう菜は収穫の後、脇芽が伸びて五回も収穫できることを発見し、農業技術を確立しました。このことは、農業専門誌の「現代農業」五月号でも取り上げられています。高橋氏が埼玉で栽培技術を十三年前に伝えたことにより、埼玉で広く栽培されるようになり、今でも栽培方法を教えてほしいと要請があるほどです。

高橋氏は、八十四歳になられますが、農業を続ける一方で学校や市民館で講演をするなど精力的に活動を続けています。

文部科学大臣表彰 新藤敏夫氏受賞

新藤　敏夫さん

昨年十一月十二日に菅在住の多摩区スポーツ推進委員長新藤敏夫さんが永年にわたり地域スポーツ推進の普及と発展に努めた功績を認められ文部科学大臣表彰である「スポーツ推進委員功労賞」を受賞されました。菅町会では新藤氏にインタビューを行いました。

表彰の経緯は、多摩区で地域十名が選ばれて、表彰対象に推薦されました。その中で一人だけ文部科学省より表彰に選ばれたとのことでした。

新藤氏は昭和六十三年ごろに、体育指導員（現在のスポーツ推進委員）になりました。現在は多摩区スポーツ推進委員長の役職についています。

新藤氏が深く関わるイベントに、多摩区スポーツフェスタがあります。多摩区スポーツフェスタは小学生の体力の低下が懸念されていたことから、子供達にもっとスポーツに興味をもってもらおうと考えたのが始まりでした。完成したばかりの多摩スポーツセンターを使い、有名なスポーツ選手をお招きして、様々なスポーツを紹介し、体験させるなど興味を持たせる工夫がされています。今年で三回目となり、延べ二千人も集まる大きなイベントになりました。

新藤氏は「今後もスポーツを広める企画を考えていきたい。」「障害者も参加できるスポーツも取り上げていきたい。」と語っていました。

皆さまの街のＪＡバンクをご利用ください
ＪＡセレサ川崎
菅支店　川崎市多摩区菅2-1-5
TEL:044-944-3101
FAX:044-945-3380
HP http://www.jaceresa.or.jp

「いっぱい遊ぶ」が育ちのきほん
ひがしすげ幼稚園
◆預かり保育あり　◆入園随時
◆見学自由　◆送迎バス有
川崎市多摩区菅北浦1-6-50
☎(044)944-4152
ホームページhttp://www.musasi-gakuen.ed.jp/

[かわしん]のキャッシュカードなら365日ご利用OK!
[かわしん]のキャッシュカードなら
朝7時から夜10時
365日ご利用OK!
川崎信用金庫
http://www.kawashin.co.jp/
稲田堤支店
☎(044)944-3170

委員会活動

補導委員会

委員長　輻崎　唯之

平成二十八年度の活動予定は毎月第一水曜日に会館に集合し、市・区及び警察や地域内の各学校等と連絡を取り、事故や事件が無い事を確認し、連絡協議会を行います。

第四土曜日に会館前に集合し、三班に分かれ町内を巡回し、違法広告物を撤去します。

八雲神社、子之神社の祭礼日、調布市花火大会当日には、神社、花火大会場の周囲を広範囲に巡回し、事故防止に協力します。

合同防災訓練に参加します。

消防委員会

委員長

消防委員会は、芝間、北浦、馬場、稲田堤、城下・仙谷地区と月一回の合同放水訓練、機材点検を行います。又、訓練には救出委員会の協力も得ながら合同訓練を行います。その他、町会諸行事、各地区での諸行事へ、訓練を兼ねて参加します。委員一人一人がもしもの時に備えて、委員会活動に努めていきます。

皆様も災害はいつ起きるかわかりません。もしもの時に備え家庭内、近隣の方々と連携を取り、日頃から防災意識を持って下さい。

救出委員会

委員長　安藤　勲

毎月二十日、消防委員会と合同で多摩川河川敷において、発電機による照明の設置訓練と緊急時の必要器具、機材の点検を行います。

救護委員会

委員長　田中　桃代

救護委員として具体的な活動方法を再検討する時期と考えます。救護活動に必要な薬品・物品の確保は整いつつあります。発災時の具体的な委員の動き、各防災委員との連携方法を防災会議で具体的に検討したいです。合同防災訓練とは別に地区ごとに救護法の出前講座の企画に参加協力したいと考えます。

町会行事での救護活動がスムーズに行えるよう準備を整えて行きます。

PR委員会

委員長　菅原　利暁

PR委員会は災害時のパニックを防ぐため、的確な情報を提供し、又、災害時のみならず、交通安全、火災予防、各種犯罪に対する意識の高揚を図る目的で、三台の広報車により町内全域の移動広報を行っています。最近子供に関わる犯罪が多発していることから菅町会では、広報車による町内全域の防犯パトロールを実施しています。

菅町会でも区役所、警察、学校、防犯協会、その他関係機関と連携し、町内全域の防犯パトロールを積極的に実施しています。本年も安全で明るく住みよい町づくりのために安全運転でパトロールに頑張ります。

救命委員会

委員長　石塚　康仁

一家に一人の市民救命士の誕生を目指して活動をしています。突然人が倒れたらそばに居合わせたあなたが勇気をもって適切な処置、すなわち心肺蘇生とAEDを取り扱うことが出来れば尊い命を救うことが可能となります。AEDの設置が普及してきましたが、使うべきか迷う22％、使い方が判らない53％というデーターがあります。会館での講習を基本に実施しますが、自治会、地区防災等の講習企画にも積極的に支援していきたいと考えています。

環境整備委員会

委員長　櫻木　進

町内二ヶ所に設置されている花壇の維持管理を一任されております。三・四月までビンクの芝桜とパンジー・ビオラがきれいに咲いておりました。雑草除去や散水などをしていると、通りがかりのご婦人から何時もきれいにしていただいてありがとうの、お言葉をいただきます。六月現在仙谷の原島園芸さんご提供のキハマギクが黄色い花を、そして、ブルーサルビアが青い花を咲かせております。

第一花壇の様子

第二花壇の様子

消火ホース格納箱

消火ホース格納箱が二ヶ所に設置されました。

いつ起こるか予想のつかない首都直下型の巨大地震は、最悪の場合の想定で死者一万三千人・建物全壊八十五万棟・避難者七百万人と、言われております。菅町会では行政の補助金のもと万一に備えて消火ホース格納箱（五本格納）を二箇所に設置しました。普段はなにげなく使っている水ですがいざ火事に成った際はホースがCOIWORKして消火に当たればかなりの威力を発揮します。

予算との絡みもありますが今後も行政の力も借りながら消火ホースの格納場所を出来るだけ増やす方向で検討していく事は肝要と思っております。

消防団員交代式

去る四月三日（日）、菅会館において稲田分団菅班団員交代式が行われました。

菅小学校校庭にて、全員の記念写真が撮影されました。今年は、昨年に比べ、交代式の時期が早かったため、桜の下での記念撮影になりました。

交代式は二名の入団者を迎え、濱沼会長挨拶で始まり、多摩消防団長、来賓の挨拶を頂き、各団員紹介と盛会のうちに終了しました。

団員の皆さんには、日ごろの厳しい活動訓練を通し「菅の町、守りの主役」として頑張って頂きたいと思います。

一年任期地区の理事名簿

芝間住宅　38　時田　力
北浦住宅　41　入内島洋子
菅住宅　60　八巻　暁
ふじのき台　74　櫻井　博之
星ヶ丘住宅　75　木村荘太郎
星ヶ丘北浦　76　大谷孝佳子
サンビーム2　79　山村　辰夫
西菅住宅1　80　高橋　政亘
西菅住宅2　81　海老原為典
あかね台　82　廣田　泰子
83　宮里美代子

編集後記

今回の紙面作りは早く準備を始めたにもかかわらず、記事作りがはかどらずに完成が遅くなってしまいました。忙しい中インタビューに応じて下さいました新藤様、高橋様、誠に有り難うございました。また、慣れないインタビューで申しわけありませんでした。

（井上　武）

菅町会特別会員（敬称略）（順不同）

㈱石井不動産総合鑑定所
㈱レック　稲田堤店
多摩川信用金庫　稲田堤支店
㈱ニューヤヒロ　稲田堤駅前店
㈱岩城整形外科
大仲科
アイランドメガネ　稲田堤店
JAセレサ川崎農業協同組合菅支店
不二家　稲田堤店
㈱日東
㈱京王ストア稲田堤店
富士シティオ㈱FUJースーパー稲田堤店
㈱八千代銀行　稲田堤支店
㈱東都不動産　稲田堤店
ヤオキ商事㈱
トヨタカローラ神奈川多摩店
ヤマト運輸㈱川崎多摩営業所
㈱学校法人日本女子大学
㈱横浜銀行　稲田堤支店
日本テレビ放送網㈱生田スタジオ
㈱よみうりランド
なとり㈱西東京営業所
㈱田豆腐店
㈱チャイルドランド
㈱ベネッセスタイルケア くらら稲田堤
㈱多摩スバル販売
㈱ハジマラ
㈱ニチイケアパレス登戸
㈱ニチイケアセンター稲田堤
コスモス・ぴあ・ハウス
㈱サンライズ・ヴィラ フェリエドゥ稲田堤
㈱水守（ミズモリ）典礼
特別養護老人ホーム すげ
よみうりランド花ハウス
㈱佐野土地開発
関口医院
㈱田島電気
特別養護老人ホーム 菅の里
キッズルーム はるるん
グループホーム ふぁいと稲田堤
稲田堤振興会
保育所　くまのこ園
地域密着型特別養護老人ホーム 花ハウス すみれ館
㈲真鍋電設
社会福祉法人なごみ福祉会 グループホーム パーラの家 川崎店
ひものの山安
㈱らいふ　らいふ・くつろぎ稲田堤
ヒューマンライフケア 多摩グループホーム 多摩の宿
石臼挽き蕎麦　石づか
はなの舞　京王稲田堤店
原島歯科クリニック
ヒューマンライフケア㈱ 菅仙谷の宿
クラーチ・メディーナ　稲田堤
㈱ホンダカーズ神奈川北 川崎多摩店
清生土木㈱
前原医院
前原真司
銘酒庵　じんべい
和風スナック　とみ
特定非営利活動法人 空の翼ウイング多摩
㈲丸晴工務店
青果　山ちゃん　稲田堤店
シンシア川崎ショートステイ
㈱日本アメニティライフ協会 福寿かわさき多摩
㈲三添総合事務所 稲田堤店
ReRaKu
㈱富士トラベル東京